

平成30年10月19日(金) 19時～20時30分

市民団体とのふれあいトーク

参加者20名 議員15名

ワークショップ形式で話し合いを行った。

A班

- ・ちっちゃイ菜は岩倉総合高校との企画（シオン倶楽部）で進んでいる。
- ・岩倉焼きそばとちっちゃイ菜は売り方次第
- ・地域福祉計画
 1. 市民会議など市民に任せすぎ。
 2. 市民の思いは？
 3. 介護予防 行政はもっと市民にはっきりと伝えるべき。
 4. 重要な部分が入っていない→協働についての行政のかかわり方
行政と市民の役割を分けるべき。
- ・区長に任せすぎ（1年任期）…自主防災会など次年度に繋がらない。
- ・ユニバーサルデザイン（UD）とLGBTの考え方は近い。
共生…ベクトルは無数にある。お互いに認め合うこと。
子どもが考えるイメージを絵画にして小中学校で展示している。
- ・フリースクールとデモクラティックスクールまんじえ（一宮市）の違い
 - 1) フリースクールとは、「何らかの理由から学校に行くことができない、行かない」という子どもたちが、小学校・中学校・高校の代わりに過ごす場所であり、不登校やひきこもりをはじめ、軽度の発達障害、身体障害、知的障害などの事情を抱えるたくさんの子どもたちを受け入れる学びの場
 - 2) デモクラティックスクールまんじえ（一宮市）の基本理念…子どもは必要なものはすべて持って生まれてきます。赤ちゃんが自然にハイハイをはじめ自分から歩き始めるようにいろいろなことを学びたいとする最高のギフト＝好奇心を持って生まれてきます。デモクラティックスクールはそれを最大に生かせる学びの場
- ・多様な教育を考える…学校に合わない子どもの受け入れ
- ・生きる力を自ら学ぶ→自己責任
- ・自分のことは自分で考える…ボードゲームで学ぶ子どももいる。
- ・公立から天才は生まれない。

B班

- ・ 岩倉市役所の職員の6割は市外の職員
→ 岩倉の桜並木に愛着を持てるように入庁から3年間、桜並木保存会で研修を受けてはどうか。

→ 「桜並木を市民の誇りと思えるか？」が課題

→ 桜並木保存会として後継者を育てる。

- ・ 岩倉から名古屋駅、伏見駅の通勤はサイコー！
- ・ 課題は医療機関が少ないこととスーパーが少ない。
- ・ 岩倉東小学校・曾野小学校での母国語教育・日本語教育は日本一
- ・ 子どもは日本語を喋られるようになるが親は喋ることができない。通訳が必要であり、コミュニケーションがとりづらい状況。
- ・ 永住希望者の家族も一定数いる。手を差し伸べる必要がある。
- ・ 永住支援策の整備を！
- ・ 日本人よりも外国人の方のほうが自治会費をしっかりと払ってくれる。
- ・ 一般市民は英語以外喋ることができない。(課題)
- ・ 翻訳アプリをうまく使えるようにする。
- ・ 外国人の方のボランティア活動できるような環境を整えることができないか。
- ・ おだんごトークを実施したが、外国人の方の団体を作ることができないか。
- ・ 外国籍の方は 20～30 か国程度いるため、教育が難しい状態と聞いている。ポルトガル語だけではない。実際、ブラジル人以外の方と接点が少ない。
- ・ 昔のような世話焼きの一般市民がいるとよい。
- ・ 親の権利より子どもの命のほうが大切。
- ・ 新聞で報道があった 3 歳児児童虐待
 - 1) 児童相談所と警察の連携が取れていなかった。
 - 2) 一宮児童相談センターとしては面会のみ、踏み込みはしていなかったようだ。
 - 3) 市民による強制捜査できないのか？→できません。
 - 4) お母さんが日頃から孤立しないような施策・工夫が必要。
- ・ 地域福祉計画
 - 1) 市民の目では見えない防犯・交通安全・介護予防など専門性があり素人では難しい。
 - 2) 行政がすべてを担うことは無理なので住民の力で協働する
 - 3) 第 2 期地域福祉計画 今年 3 年目であるが民生委員では話題にもならなかった。
 - 4) 推進会議が理想と違う形になっている。介護予防・体力保持・筋力トレーニングが入っていない。
 - 5) 大切なのは介護予防と生活支援
 - 6) 介護教室は何があるのか？さくらの家、総合体育文化センターで満足している！で終わっている。
 - 7) 行政としてあるべき姿・ビジョンを持つべき。もっと指導力を発揮すべき
 - 8) 老人には肉・魚などたんぱく質が必要。健康寿命を延ばすためには食べること・食育が必要。今まで施策としてやってこなかった。
 - 9) 高齢者の定義 高齢者は何歳から？ 65 歳・70 歳人それぞれ違うのではないかな？

- ・ 昔、農家は農協（JA）に卸していた。今は家庭用、ずっとこうやってきたという偏った考え方・性格。

C班

- ・ 各種イベントで顔ぶれがほぼ一緒
 - 1) 良い点 親しみ・情報交換
 - 2) 課題 話題性が乏しくなる
- ・ ユニバーサルデザイン…共生の社会
考え方
 - 1) 自由で安心安全の社会
 - 2) 気を使わない社会
 - 3) 上下関係のない社会
課題
 - 1) 車いす用駐車場の屋根が短い→広くできないか
- ・ 多様性の社会…多様な教育
- ・ 岩倉のいいところは、小中学校が一緒のところに行ける。
- ・ 子育て支援として7つの児童館、ひよこクラブ、ベビーマッサージ（予約）を活用する。
- ・ どこへ行っても同じママ三人組会っている
- ・ 情報ホットメールの実利用人数は？
- ・ 子育てアプリ…情報提供方法に課題？
- ・ ヨーヨーのまち岩倉のPRを！

D班

- ・ 防災無線の音が聴きとりづらい
- ・ ユニバーサルデザイン振興指針…学校の授業で続けて行く→学校先生が言いづらいこと
- ・ シオンとして在日ブラジル人へのアンケートを実施した。地震が起きた時のこと。
- ・ ナフコ前に店舗があるが、日本人と外国人の接点がない。
- ・ 外国人にとって分別は難しい。日ごろから何かできないか？
- ・ 高齢化に伴って衰退していく。拠点づくりが必要！ボランティア活動がこれから必要！